

令和4年第2回（6月）
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	本田芳枝
2	井上正宏
3	田川正治
4	宮崎広子
5	案浦兼敏
6	川口晃
7	福永善之
8	久我純治
9	安藤和寿
10	鞭馬直澄
11	山脇秀隆

通告順 NO. 1 質問者13番 本田芳枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>学校の女子トイレに生理用品を配置することについて</p>	<p>昨年6月に私は、「生理の貧困」と題して小・中学校の女子トイレに生理用品の配置についての質問をしました。今年2月に厚生労働省が「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」をしました。対象は18～49歳ですが、その結果を踏まえて、再度質問をいたします。</p> <p>(1) 「生理の貧困」についての厚生労働省の調査結果の感想は。</p> <p>(2) 生理用品を小・中学校の女子トイレに常備する考えは。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>小・中学校の改築・増築計画について</p>	<p>ここ数年、粕屋町の小・中学校の改築時に増築の事業が進められています。改築は以前からの計画で、ある程度承知はしているのですが、増築に関しての中長期的な計画は公にされていません。子どもの人口増加に応じてのクラス数の増加、少人数学級対応の必要性、また特別に支援を要する子どもの増加などの要因があると思いますが、基本的な考えと具体的な建設計画を問います。</p> <p>(1) 0～15歳の子ども人口増の予測は。</p> <p>(2) 特別支援学級数増加による対応とインクルーシブ教育との関連は。</p> <p>(3) 全体的な改築・増築の計画は。</p>	<p>教育長</p>
<p>地域猫活動支援について</p>	<p>令和2年度粕屋町での猫の死体処理数は184匹、引き取り19匹、多くの猫たちの悲惨な状況が町の課題となっています。広報かすや5月号に「地域猫活動の支援を開始します」とありました。支援内容、その取り組みを問います。</p> <p>(1) 2019年に動物愛護管理法の一部が改正され、2020年6月から施行された。町での取り組みは。</p> <p>(2) 町民による地域猫活動のグループを作る方法などの周知はどのようにするのか。</p> <p>(3) 猫を迷惑に思っている町民への配慮は。</p> <p>(4) 人も猫も共に幸せに暮らせるまちづくりを進めるために、その理念をうたった基本的な条例が必要では。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 2 質問者 6番 井上正宏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>幼児教育について</p>	<p>(1) 新幼稚園教育要領、保育所保育指針が大幅に改善され実施にあたって、幼児教育の内容、方法などの効果的な指導方法や教材の研究など、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(2) 幼児期の教育と小学校との円滑な連携をするために、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(3) 幼児教育現場における先端技術の円滑な活用について、実践を共有化する手段として、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(4) 障がいのある幼児や特別な配慮を必要とする幼児への支援は、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(5) 若年保育士の離職者が多い中で高い専門性を有する保育士の処遇改善も含め、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(6) 預かり保育や子育て支援など、教育以外の活動が増加するなかでどのような取り組みをしているのか。</p> <p>(7) 家庭や地域において幅広く幼児教育の理解を深めるために、どのような取り組みをしているのか。</p> <p>(8) 経済的困窮や虐待などの様々な問題を抱える家庭への支援は、どのような取り組みをしているのか。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>シニアクラブ連合会の会員の増員及び活性化について</p>	<p>(1) シニアクラブ連合会の数と会員数は、現在どのくらいか。</p> <p>(2) シニアクラブ連合会が抱える課題は何か。</p> <p>(3) 会員を増やすために、行政はどのような取り組みを進めているのか。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 3 質問者10番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会実現めざした、町の自然再生可能エネルギーや、省エネルギーなどの計画と補助制度について</p>	<p>(1) 町長が施政方針で、「地域における再生可能エネルギーポテンシャル及び将来のエネルギー消費量などを踏まえた導入目標や、目標を実現するための具体的施策等の検討を行い、粕屋町地域再生エネ導入戦略を策定いたします」と表明されたが、具体的な計画と施策の進捗状況は。</p> <p>(2) 公共施設の屋根や建物を利用した太陽光発電の設置を進め、脱炭素CO2削減と、電気量の節約を計るために、かすやドーム、サンレイク、フォーラムなど既存の施設や、今後建設される中央保育所や朝日住宅、町有地を利用した旧焼却場などに設置する考えは。</p> <p>(3) 自然再生可能エネルギーを推進するために、個人住宅の太陽光発電の設置に、町独自の助成制度を策定する考えは。</p> <p>(4) 建物の断熱化による節電促進のため、中小企業者の仕事確保にも繋がる、住宅リフォーム助成制度を復活する考えは。</p>	<p>町長</p>
<p>新型コロナウイルス感染者や風水害などの、災害時による避難者や、社会的弱者の救済制度と、環境整備の拡充について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症や風水害などの災害時に、高齢者や障がい者などは避難所に移動できず、自宅で避難することになる。災害時に在宅避難する人達への、食料や物資の支援策は。</p> <p>(2) 公共施設などの避難所の環境整備や、避難所までの誘導手段の体制、高齢者や障がい者、女性や乳幼児などへ支給するための、生活物資の確保と保管・補充は。</p> <p>(3) 災害時に町民に避難情報などを周知徹底するには、現状の防災無線の設置数や音響機能では、聞こえない地域が増えている。設置個所の増設や音響設備の性能を向上するために改修する考えは。</p>	<p>町長</p>
<p>新型コロナウイルスワクチン接種や交付金支給の業務配置で、職員が不足した職場への職員の補充について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症拡大が発生した時から、町職員は臨時体制になり通常の職務に影響が生まれ、新年度の人事異動では課長が兼務する事態が生じている。 町民への行政責任を果たすために、いつまでに正職員を採用して欠員補充する考えなのか。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 4 質問者4番 宮崎広子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ヤングケアラーの実態とその支援について	<p>(1) 昨年に引き続き、本年も厚生労働省は小学6年生に対しヤングケアラーの実態調査をおこなっている。その結果、15人に一人の割合で存在することが報告されている。これは、昨年の調査を上回る数である。それだけ、家庭の貧困や孤立が進んでいるのではないかと思われる。粕屋町でもその調査は行われたか。その調査方法と結果を問う。</p> <p>(2) ヤングケアラーの把握は、学校の先生方によるところが大きい。昨年は、生徒指導委員会や管理職等の定例会から始める予定という回答であったが、研修は行われたか。その効果はあったか。さらに、幅広く研修を行う必要があると思うが予定されているか。</p> <p>(3) 子どもの介護者は、自分が悩んでいることをほとんどが相談しないという結果が出ている。町や県には多くの相談機関がある。その中に子ども自身が相談できる窓口はあるか。また、実際相談を受けているか。 県が実施している「大学進学アシスト事業」への相談はあったか。 ソーシャルワーカーを中心に、SNS・電話・手紙などで相談室を作れないか。</p> <p>(4) これまで、小・中学校に在学している時はスクールカウンセラーが悩みを聞き、スクールソーシャルワーカーにより家庭訪問が行われてきたと思うが、中学校を卒業したケアラーに対して、だれがどのように支援しているのか。</p> <p>(5) 政府は、ヤングケアラーに対して令和4年度から3年間を集中取り組み期間と位置づけ、認知度の向上や支援策の強化を図る。その中でヤングケアラー・コーディネーターの配置や研修の補助も行われ、令和3年度補正予算や令和4年度予算に盛り込まれている。その活用の予定は。</p>	町長 教育長
粕屋町の熱中症対策について	<p>1. 公立学校の熱中症対策について</p> <p>(1) 地球温暖化が加速し、早い時期から気温の上昇が見られる。特に児童・生徒の下校時は、30度以上の高温になる恐れがある。長時間マスクをして歩いて帰る児童・生徒に、熱中症を予防する対策はどうしているか。</p> <p>(2) 空になった水筒に冷たい水を補給することができるように非接触型のボトル専用給水機を学校に設置してはどうか。 水筒に水を汲み足すことは、環境教育にもなると思うがいかがか。</p>	町長 教育長

<p>物価高騰による給食費支援について</p>	<p>2. 高齢者の熱中症対策について</p> <p>(1) 現在、熱中症は屋内でも屋外でも起こる。特に、高齢者は温度に対する感覚が弱く、体内に熱がこもりやすく体温が上昇する。 高年齢者の熱中症に対して、町としてどのような対策をとっているか。</p> <p>(2) 多くの人が集まる町の公共施設（サンレイクや図書館など）には冷水の給水施設があるが、見えるところに水分補給ができれば高齢者にも促すことができる。今は新型コロナウイルス感染症の影響もあり使用できないが、今後冷水器は稼働するのか。 また、この冷水器を「非接触型カウンター式ウォータークーラー」にすれば、安全に水を汲むことができる。また、マイボトルによる給水は、ペットボトルの使用量が減り、CO2削減にも大きく貢献できる。町の考えはいかがか。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、物価が高騰し町民に大きな負担が強いられる。学校給食費などもその影響を受けると思うが町はどう分析しているか。 また、学校給食や町立保育所の給食に食材値上がりの影響を受けると、これまでのような価格で安心・安全な質の高い給食を提供することが難しくなる。そこで、給食費の負担を軽減するため食材の増額分を、政府より支給される地方創生臨時交付金を活用してはと思うが、いかがか。</p> <p>(2) 町の認可保育園、認定こども園、認可外保育施設、介護施設の給食に対しても地方創生臨時交付金が活用できるが、町の考えは。</p>	<p>町 長 教育長</p>
-------------------------	--	--------------------

通告順 NO. 5 質問者 7番 案 浦 兼 敏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町政への取組みについて	<p>町政への取組みについて、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 1期目の町長公約について、実現できたこと・実現できなかったことは。</p> <p>(2) 今後、町政で取り組みたいことは。</p> <p>(3) 市制施行を見据えたまちづくりとは。</p>	町長
市制施行に向けた取組みについて ○将来人口の見込み	<p>市制施行に向けた取組みについて、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 人口の伸びが鈍化しているが、その原因をどう分析しているのか。</p> <p>(2) 総合計画での将来人口フレーム（令和7年・52,000人）は、達成できるのか。</p> <p>(3) 定住化を促進する施策を考えているのか。</p>	町長
○職員の確保と人材育成	<p>(4) 那珂川市についての新聞報道（令和4年4月19日付け西日本新聞）から、那珂川市と比較して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粕屋町職員の平均年齢と年齢構成は。 ・人口1万人当たり職員数は。 ・中途退職者数は。 ・職員の働き甲斐を高め、定着化を図る対策の必要性は。 <p>(5) 多様な人材を確保するため、福岡市における社会人経験者などの職員採用試験を参考にしては。</p>	
○町民の意向把握	<p>(6) 町民の意向把握のための調査は、いつ頃実施するのか。</p> <p>(7) 町長自らが直接町民の意向を聞く機会（タウンミーティングなど）を設けては。</p>	
○財源の確保	<p>(8) 企業立地への取組みをどのように進めていくのか。</p>	

通告順 NO. 6 質問者 9番 川口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>J R福北ゆたか線及び J R香椎線の駅舎の管理と踏切問題について</p>	<p>(1) 駅舎管理について ① J R九州は各地で駅舎管理の駅員の無人化を図っている。乗降客の安全と利便性の上から駅員の配置は必要だと思うが、町としてはどのように考え、対策をとってきたのか。 ② 駅を中心とした町づくりの構想を町は持っているがどのように進んでいくのか。計画の詳細は。</p> <p>(2) 柚須2号踏切の歩道の設置について ① 踏切本体の改修工事がされているようだが、この工事は粕屋町がしたのか。J R九州がしたのか。 ② 踏切の南北は広い歩道が設置されているが、踏切内の歩道の設置は進まない。何が問題なのか。</p>	<p>町長</p>
<p>「国連家族農業10年」の趣旨を生かした家族農業の育成を図ることについて</p>	<p>(1) 「水田活用の直接支払い交付金（水田交付金）」の見直しを農林水産省は計画しているが、町としてはどう対応していくのか。 (2) 食糧自給率の向上は、地方においても生活の安全保障として必然のものであろう。町としての農業政策はどのようなことを実施しているか。</p>	<p>町長</p>
<p>粕屋町職員の増員について</p>	<p>(1) 現在の仕事量を考慮すると正職の定数は何人必要なのか（会計年度任用職員・臨時職員の仕事量を正職の仕事量に置き換えて）。 (2) 定数条例と国の指導について ① 定数条例を充足した職員数の増員は。 ② 国の指導の具体的な内容は。</p>	<p>町長 教育長</p>

通告順 NO. 7 質問者 11番 福永善之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
終活登録について	<p>神奈川県横須賀市では、全国の自治体で初めて、2018年5月に終活登録事業を始めています。</p> <p>事業内容は、本人が倒れた場合や亡くなった場合に、せつかく書いておいた終活ノートの保管場所や、お墓の所在地さえ分からなくなる事態が起きており、こうした「終活関連情報」を生前に登録する事です。</p> <p>これを万一の時、病院・消防・警察・福祉事務所や、本人が指定した方に開示して、本人の意思の実現を支援する制度です。</p> <p>(1) この事業に関する粕屋町でのニーズは。</p> <p>(2) この事業を実施する場合の行政コストは。</p>	町長
消防団の役割について	<p>総務省消防庁は、2021年8月「消防団員の処遇等に関する検討会」の最終報告書を公表。</p> <p>その中には、平時の消防団活動の在り方など、団員に負担がかからない、必要かつ効率的な訓練の実施を求めています。</p> <p>操法大会については、競技性を抑止するなど、見直しを求めています。</p> <p>(1) 全国の消防団員（OB含む）の声には、操法大会を前提とした訓練が負担となっている、との指摘があります。</p> <p>粕屋町の団員から、操法大会についてそういった声は上がっていますか。</p> <p>(2) 粕屋町は、団員確保に対し、町の広報紙などを活用し、団員募集を行っています。</p> <p>団員数が定数に満たない状態が続いていますが、原因はどのような所にあると考えていますか。</p> <p>(3) 近年、火災においては、消防署が設置されており、また、住宅環境も防火体制を備えたものになってきており、火災発生に対する消防団の役割は昔ほど必要がないと感じます。</p> <p>一方で、台風、豪雨、地震などの自然災害における救助活動や被害を防ぐ活動においては、消防署だけではマンパワーが不足するため、幅広くマンパワーを供給できる消防団の役割は、大事だと感じます。</p> <p>時代と共に、消防団の役割を見直していくべきと考えますが、粕屋町の考えは。</p>	町長

通告順 NO. 8 質問者 12番 久我純治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>広報かすやの中に議会のページを</p>	<p>国は、デジタル化を進めるために、大臣まで作り力を入れている。粕屋町もデジタル化の波の中に入るのも時間の問題だと思う。</p> <p>粕屋町には、広報かすやと議会だよりがあるが、議会が大切に思っている予算・決算ページは、読んでいる人の感想は、広報かすやのほうがわかりやすく、丁寧に思えるとのこと。</p> <p>新聞もそうですが、議会だよりを読んでいる若い人が極端に少なく思われます。</p> <p>時代の違いかQRコードがあり、読みたい時に読む、これが現代です。</p> <p>(1) 広報かすやに議会の情報をQRコードなど使いながら行うことにより、議会だよりを廃止することはできないでしょうか。そうすることで年間約280万円の予算削減につながり、多少ページ数が増えてもトータル的には予算削減につながるとは思います。</p>	<p>町長</p>
<p>国鉄志免炭鉱跡地ボタ山について</p>	<p>3町に払い下げられて数十年、途中いろんな業者が入札に来たことと思います。</p> <p>未だ成果はなく、ホークスの誘致の時、3町で動いたと思います。</p> <p>あのハゲ山だったボタ山が今は立派な山になって、立木は大木になっています。</p> <p>入山することも思うようにいかず、昔に戻ったように思います。</p> <p>(1) 国有地化はできないのですか。</p> <p>(2) ボタ山の再開発計画について、3町長で協議した内容は。</p> <p>(3) 再開発計画について、日本国内だけでなく世界に発信してはどうか。</p> <p>(4) ボタ山が再開発された場合の固定資産税額は。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 9 質問者15番 安藤和寿

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>当町JR駅の無人化に伴う安全環境の課題について</p>	<p>2022年3月12日に実施されたJRのダイヤ改正で、門松駅が無人化（駅員が終日不在になる）となり、当町のJR駅6駅中3駅が無人駅となった。また、切符の販売窓口を廃止する駅として柚須・原町駅がコロナ禍などによる利用者・収入減からJR駅の運営体制が見直され、町民の不安視する声がある。</p> <p>無人化に伴う安全面の課題など、町の考えを問う。</p> <p>(1) JR側から、1日乗車人員1,132人（2020年度データ）の門松駅の運営体制の変更（無人化）について、当町への打診は事前にあったのか。</p> <p>(2) 当該駅の安全面などから、JR九州が駅業務を町に委託する相談はあったのか。</p> <p>(3) 駅無人化でSSS（スマートサポートシステム）への変更で、安全面や利便性が損なわれるなどの不安が聞かれる。</p> <p>無人駅を巡回する人員の配置など、安全確認は行われているのか。また、町として無人化に伴う安全面をどのように捉えているのか。</p> <p>(4) 1日の乗車人員1,215人の原町駅が、今後無人化される懸念の声も聞かれる。町として防犯見守りも含め、地元商工会やベンチャー企業と連携し、無人駅舎の事務室などを活用した取り組みが必要と思うが、町の考えは。</p> <p>(5) 粕屋町ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、マイカー等の通勤を少しでも公共交通機関へ切り替え、利用の減少を打開する取り組みが必要と思うが、町長の考えを問う。</p>	<p>町長</p>
<p>町長就任期間を振り返り8月の町長選挙へ向けての考えについて</p>	<p>2018年9月粕屋町の更なる発展への期待を一身に受け、箱田町政がスタートして4年を迎える。今年4月には、今までにない町政報告会を実施され、任期満了まで3か月程となった。1期目の4年を振り返り、8月28日予定の町長選挙について、町長の考えを問う。</p> <p>(1) 町長に就任され、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など様々なことに遭遇され、振り返ってどのような期間であったか。また、自己総括をするならば、どのような町長であったか。</p> <p>(2) 任期満了に伴う町長選挙に、更なる町の発展のため2期目も望む声が多く聞かれる。2期目への出馬の考えは。</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 10 質問者 8番 鞭馬直澄

質問事項	質問の要旨	質問の相手
無駄の削減への取り組みについて	<p>(1) 旧ごみ焼却場の解体撤去工事の進捗状況と跡地の活用について。</p> <p>(2) 4月、南里堰のワイヤロープ断裂事故が発生している。この数年同様の事故が連続して3件発生しているが、設備維持管理の課題と再発防止対策について問う。</p>	町長
子育てしやすいまちづくりの取り組みについて	<p>(1) 公約目標の一番に取り上げている「子育て環境の整備」の現状と今後の方針について下記を問う。</p> <p>①私立、町立保育所について ②学童保育所について ③小・中学校について ④高校生について</p> <p>(2) 粕屋町の青少年育成について</p> <p>①未来を担う子ども達をどういう大人に育ててほしいと思いますか。 ②どういう支援を考えていますか。</p>	町長

通告順 NO. 11 質問者14番 山脇秀隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>地方創生臨時交付金 (コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分)の活用について</p>	<p>ウクライナとロシアの戦争は、世界経済に悪い影響を及ぼし、日本においても石油や天然ガスといったエネルギーの高騰や輸入食糧品などの値上がりなど、生活必需品に大きな打撃を与えています。先日、速報値として国内総生産(GDP)実質成長率が昨年比2.1%上昇したと報じられていましたが、これは労働者の賃金の値上げや国民の消費拡大が進んだわけではなく、長引くコロナ禍に加えて原油などの輸入品目の物価の高騰が要因とされています。こうしたことを踏まえて政府は、緊急対策として4月28日に自治体の事業を国が財政支援をする地方創生臨時交付金を拡充し、1兆円の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の創設を決め、幅広い活用を地方自治体に要請しました。</p> <p>(1) 粕屋町の6月補正予算に活かされているのか聞きます。</p> <p>(2) 実行計画の提出が7月29日となっていますが今後の計画を聞きます。</p> <p>ア、生活者支援として考えられることは。</p> <p>イ、事業者支援として考えられることは。</p> <p>ウ、その他考えられることは。</p>	<p>町長</p>